再発防止対策書

関西支部

発生日時	令和　３年　７月１２日（月曜日）１５時　０９分							天候	晴	
災害の程度	死亡　　名		負傷　１名		職種		年令　２４才		経験年数　２年	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他		
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			
設備	電圧　２７５kV		２回線	電線AL520 ㎟ 単 導体		地線　　㎟　条 地線IACSR64㎟ 1条				

災害の状況

A線（275kV）電力線張替工事中（1 号線送電中、2 号線停止中）、№○○号
鉄塔の2 号線A（中）相老側において、誘導により感電、負傷。

・中相老側移線完了し被災者が中相老側アークホーンに接地を取付け、
タワーホームを設置した。
その後、タワーホーム上を移動し、がいし連とクランプの接続を完了。
被災者は作業完了後、塔体へ向かってタワーホーム上を移動した際（接地器具のライン側フックが外れたことにより）腕金吊材に触れた際に感電負傷。

原因及び対策

【問題点】
・接地器具ライン側フックが首振りしない仕様であった。
・接地器具ライン側フックが適切に取り付けられていなかった。（コゼていた）

【恒久対策】
・現場監督者は作業責任者（作業員）に、ライン側フックに首振り機構を有した接地器具を使用させる。
また、作業員は、接地器具取付後に接地棒を揺すった上で再締めする。

（注）1.　「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に○印を付ける。
2.　災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。